



情報4 第48回相模ささら踊り大会（綾瀬市会場）開催 について

◆ 目的

江戸時代から伝わる神奈川県指定無形民俗文化財を継承する団体が一堂に会する伝統的な民俗芸能の大会である。

綾瀬市・秦野市・海老名市・厚木市（2団体）・南足柄市・藤沢市の6市7団体により、相模ささら踊連合会を結成しており、年に1度各市持ち回りで大会を開催しながら、地域ごとに異なる特色ある唄と踊りを披露し、ささら踊りの保存及び継承に努めている。

◆ ささら踊りとは

江戸時代中期に始まったとされる踊りで、揃いの浴衣に帯を締めた襷掛けの女性が短冊状に加工した竹（ビンササラ）と小太鼓を鳴らしながら、農村の暮らしを表す唄に合わせて踊る盆踊りの一種。輪になって踊る「輪踊り」や一列になって踊る「舞台踊り」があり、地域ごとの特色がみられる。

大正時代に一度途絶えたが、昭和29年に足柄ささらが復活したことを契機として旧相模国内の各地で復活を遂げ、地域の無形民俗文化財として地域の保存会などにより、大切に継承されている。

◆ 内容

(1) 各ささら踊り保存会による出演発表

綾瀬・秦野・海老名・長谷（厚木市）・足柄（南足柄市）・愛甲（厚木市）・葛原（藤沢市）

(2) 市内保育園5歳園児15名による特別出演

ささら踊りの発表

(3) 市民俗芸能保存協会及び地域住民等の協力による運営

市民俗芸能保存協会各団体、市史跡ガイドボランティアの会、老人クラブ、市指定文化財管理者などの方々が全面協力

(4) サントリープロダクツ(株)神奈川綾瀬工場の協賛

飲み物の提供をいただく

◆ 開催概要

日時：7月8日（水）13時30分～16時

（広報あやせ7月1日号に開催記事掲載）

場所：IIMURO GLASS 綾瀬市民スポーツセンター 大体育室





綾瀬市記者発表資料

令和 8 年 5 月 26 日発表
市民環境部 生涯学習課
市史文化財担当
Tel.0467-70-5637

対象者：一般市民

◆ その他

・過去の綾瀬市内での大会開催は、昭和 5 5・6 2 年、平成 6・1 4・2
2・3 0 年度

・歴史

昭和 5 1 年 綾瀬ささら踊り保存会（現在の会員数は 2 1 人）創立

昭和 5 6 年 綾瀬ささら踊りが市指定文化財に指定

平成 2 0 年 相模ささら踊りが県無形民俗文化財に指定

